

次の21の部で資金を活用しました。体育会各部からの活用報告が届いておりますので、ご紹介いたします。

### ■ 合気道部 活用内容：春合宿旅費交通費

体育会合気道部では、3月2日から9日にかけて小豆島において春合宿を行いました。参加した部員は3年部員1名、2年部員5名、1年部員5名、計11名です。宿泊は「小豆島海浜センターますや」さんにお世話になりました。使わせていただいた道場は二百畳を超える広さで、部員一同のびのびと稽古することが出来ました。

合宿には当部の五十嵐和男監督や前監督の小林保雄先生、白川勝敏先輩をはじめとする多くのOB先輩方にお越しいただき、ご指導ならびに稽古をしていただきました。また、合宿後半では五十嵐先生の監督のもと、昇段審査が行われました。その際、2年部員1名が初段に合格することが出来ました。合宿中には稽古の他、「二十四の瞳」の像の見学、エンジェルロードやオリーブ公園の散策なども行い、小豆島の特色に触れ見聞を広めることが出来ました。



### ■ アーチェリー部 活用内容：夏合宿・定期戦旅費交通費、消耗備品購入費、弓具消耗備品、テント一式購入費、遠征貸切バス代、褒賞金

アーチェリー部OBOG諸先輩の皆さまから、未来サポーター募金に寄付をいただき誠にありがとうございました。頂戴した寄付金は、アーチェリー部強化のために使用させていただきました。

関東学生アーチェリー連盟リーグ戦で勝利を収め、昨年に続き全日本学生アーチェリー王座決定戦に男子・女子同時出場を果たすべく部員一同練習に励んでいます。

使用用途は、強化練習のための夏季合宿・関西遠征の交通費支援、消耗品弓具の支援、八幡山射場での練習環境改善のため移動式テントの購入を行いました。そして、2015年12月5日から6日に兵庫県加東市で行われた全日本アーチェリー連盟主催の第13回世界室内選手権大会最終選考会でアーチェリー部4年生前田悠帆が3位に入り、日本代表選手となり部内表彰制度に基づき報奨を行いました。

寄付をしていただいた先輩諸氏に感謝するとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。



### ■ 空手部 活用内容：夏合宿旅費交通費・施設利用料

空手部では、9月4日から10日の一週間、青森県にある新青森総合運動公園にて夏合宿を行いました。所属する17名の全部員が参加し、8月開催の和道会全国空手道競技大会や10月11月開催の学空連主要大会に向けて、チーム全体の底上げを図る機会となりました。普段は個人に任せてしまうことの多い筋力トレーニングや声出しを全体で行うことにより、体力の強化・技術の向上はもちろんのこと、チームの結束を強めることも出来たと思います。

自然に囲まれた中、整った設備環境で、付属するトレーニングルームも個々に活用しながら稽古に励むことが出来ました。また、最終日には現地の青森北高等学校並びに明の星高等学校と合同練習を実施し、若い力に刺激を受け気持ちを新たにすることに繋がりました。



## ■ 弓道部 活用内容：夏合宿貸切バス代、プリンター購入費、大会参加費、連盟登録費

初めに、皆様からご寄付をいただいたことに対し、心よりお礼申し上げます。私たち弓道部は、日々の練習や合宿で技を磨き、全国規模の大会で活躍することを目標に活動しています。昨年に寄付いただいた未来サポーター募金は、部員の連盟登録費や大会参加費、また、大会・合宿への交通費に充てさせていただきました。そのおかげで充実した遠征・合宿を送ることができ、昨年は3つある全国規模の大会で準優勝と2度の優勝を勝ち取ることができました。

全国大会は遠方で開催されることもあり、交通費もかなりの額になってしまいます。皆様からの支援のおかげで満足のいく合宿での練習ができ、またスムーズに大会等に参加でき、活躍することができたと感じています。

今後とも私たちは精一杯精進し、大会等での活躍を目指していくので、引き続き弓道部の応援をして頂けると幸いです。この度は、誠にありがとうございました。



## ■ 競走部 活用内容：新潟県妙高・北海道紋別・千葉県富津 合宿宿泊費

この度は未来サポーター募金へのご支援を賜りありがとうございました。

皆様から頂いたサポーター募金は箱根駅伝に向けた、夏の妙高高原合宿と北海道紋別合宿の費用として使わせていただきました。

妙高高原合宿は、8月7日～13日に実施し、起伏の激しいコースで基礎体力を養成することを目的として長距離部員全員でトレーニングをしました。紋別合宿は、8月24日～9月3日に、ロードを中心とするスピードを取り入れた実践的な練習を選抜メンバーで行いました。

今年の箱根駅伝は、14位で8年ぶりにシード落ちという結果に終わってしまいましたが、4月から新入部員10名を迎え、チーム一丸となり10月の予選会を戦い抜くために日々練習に励んでおります。本戦ではシード権獲得は勿論、上位争いを目指していきますので今後ともご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

明治大学競走部 駅伝監督 西 弘美



## ■ 剣道部 活用内容：春合宿宿泊費

この度は私達、体育会剣道部への御支援賜りまして誠にありがとうございます。

今回頂戴致しました未来サポーター募金により、千葉県の白子において2015年度春合宿を盛大に執り行うことが出来ました。御志につきましては、春合宿で使用する施設宿泊費や移動費として有意義に活用させていただきました。

その結果、昨年度は第63回全日本学生剣道優勝大会でベスト8、第61回関東学生剣道新人戦大会で第3位といった成績を収めることが出来ました。来たる全日本学生剣道選手権大会・関東学生剣道優勝大会・全日本学生剣道優勝大会では優勝を勝ち取れるよう、より一層精進していく所存でございます。今後ともご支援いただけますよう、宜しく願い申し上げます。





## ■ 硬式野球部 活用内容：アメリカ遠征（フロリダ州・アリゾナ州）

「アメリカ遠征を経て」

私たち体育会硬式野球部は、3月3日から21日までアメリカ遠征を行わせて頂きました。遠征先はフロリダ州バロビーチとアリゾナ州スコッツデールです。フロリダではドジャースの前キャンプ地ヒストリック・ドジャータウンをお借りして練習に励み、アリゾナではアリゾナ・ダイヤモンドバックスやチェコスロバキアのナショナルチーム、また地元の大学とOP戦を組ませていただきました。日本とは違う文化や本場の「Baseball」を肌で感じる事ができて、とても刺激になりました。また、天気にも恵まれ爽やかなキャンプにすることができました。今回それぞれが感じたこと、学んだことを大切にして今後の人生、また野球に活かしていきたいと思えます。

今回このような経験ができたのも皆様のご協力があったからです。本当に有難うございました。アメリカを経験した一味違う新チームにご期待ください。今後とも温かいご声援の程、宜しくお願い致します。



## ■ 自転車部 活用内容：大会（ツールド北海道）旅費交通費

この度、体育会自転車部はツール・ド・北海道2015に参加してまいりました。ツール・ド・北海道は国内で最も歴史のあるステージレースで海外のプロチームも含めた20チーム（100名）で争われる日本最高峰の自転車ロードレースといえます。全国より5大学が推薦され、明治大学は7年ぶり5度目の出場を果たしました。9月11日より13日までの3日間、旭川市を中心とした道央・道北地域を舞台に550kmに及ぶレースは、途中では標高1000mの十勝岳を駆け登り、深川市や石狩の田園地帯を駆け抜け札幌のゴールを目指しました。チーム総合成績では16位とプロや実業団のチームに差を付けられましたが、個人成績では法学部2年の松本が学生最高順位（32位）を得るなど収穫の多い大会でした。

今回の遠征に当たっては選手5名スタッフ3名の移動費用に皆様より頂戴いたしました未来サポーター募金の一部を利用させていただきました。また、現地では道北地区父母会の皆様からも温かい声援をいただき大変元気づけられました。この場をお借りしてお礼申し上げます。どうもありがとうございました。今後も体育会自転車部への応援をいただけるよう部員共々努力してまいりますので、引き続きよろしく願いいたします。

体育会自転車部監督 本間滋



## ■ 自動車部 活用内容：ダート練習会参加費、全関東・全日本大会宿泊費

当部へのサポーター募金ご協力ありがとうございました。

2015年度は試合前日の部員の宿泊費と選手の練習費に使用させていただきました。今までは試合当日深夜に出発し、試合を終えて夜遅く帰着というスケジュールでした。それでは睡眠不足、疲労による事故などの危険があると判断し、数年前から前日泊をしていました。しかし、宿泊費、交通費は個人負担だったので、少しでも部員の負担を減らすために募金を活用しました。また、選手に選ばれた者は選手だけの練習を自己負担で行って来ました。「お金がないと選手になれない」という声もあり、これにも活用させていただきました。お蔭様で選手は延び延びと練習し、部員も活き活きと活動し、部員数も平成に入って一番多くなりました。その結果、全関東総合杯を17年ぶりに獲得し、全日本総合杯は3位でしたが喜びより悔しさいっぱいという頼もしい雰囲気になりました。今後とも人材育成をしながら優勝を目指して頑張ります。これからもご支援よろしく願い申し上げます。





## 射撃部

活用内容：弾薬購入費、遠征宿泊費、射撃分析装置一式、部車購入費、遠征用レンタカー代

いつも御支援頂きまして誠にありがとうございます。今回射撃部は募金の一部を使用させて頂き、スモールポアライフルの弾薬並びに関東大会等の宿泊費・部車の購入・射撃分析装置スキャットの購入に充てさせて頂きました。

射撃分析装置は、銃の動きを確認することができるもので、エアライフル・スモールポアライフル両方で使用できます。今回4台購入させて頂き、技術力向上を目指してまいります。

2015年は全日本男子団体準優勝と3連覇は成し遂げられませんでした。気持ちを新たに常勝明治を目指し努力していく所存です。

今後とも皆様の御支援、御指導、御鞭撻の程をよろしくお願い申し上げます。



## 柔道部

活用内容：奨学金

昨年4月に柔道部が使用したサポーター募金につきましては、将来有望な学生の育成及び強化に役立つこととし、学生が集中して学業及び柔道に専念するための環境整備の一つとして、生活面で負担となっている大学授業料の内、春学期授業料分をサポートするとの考えに至り、柔道部学生の奨学金として活用させていただきましたので、ご報告申し上げます。

なお、対象者につきましては、柔道部奨学金内規に基づいて5名を選考し奨学金を給付したところでございます。

また、こうした大学当局による建設的なスポーツサポート施策には深く感謝を申し上げ、柔道部において支援した学生につきましては、全日本学生柔道団体優勝大会や全日本学生柔道体重別大会等において、明治大学の代表として素晴らしい活躍と優秀な成績を残すことができたり、また、学業面では、それぞれの学生が良好に単位を取得していることから、学生の育成・強化に役立つ取り組みに厚く御礼申し上げる次第でございます。

体育会柔道部 部長 森下 正 監督 猿渡 琢海



## スキー部

活用内容：練習用ジャンプ台購入費、海外遠征派遣参加費

スキー部では、未来サポーター募金からジャンプ台製作費と部員2名の海外遠征費を取り崩していただきました。東京を生活の拠点としているため、ジャンプ練習をするには長野や新潟などの遠征合宿に行かなければならず、なかなかジャンプ練習の練習量を確保できませんでした。しかし、練習用ジャンプ台を合宿所に制作したことにより、練習量の少ないジャンプ系の練習量を大幅に増やすことができました。

合宿所での練習量が増えたことによって、渡部、曾根原の2名が日本代表の海外遠征に参加することができました。ジャンプ台での練習や、海外遠征に行けたことで、渡部は自身最高となるワールドカップ9位の競技成績を残し、曾根原は明治大学スキー部2年ぶりとなる全日本学生スキー選手権大会(インカレ)においてルディック・コンバインド部門優勝の競技成績を収めることができました。





## ■ 端艇部

活用内容：スリーブオール購入費、エイト競技用艇の分割修理費



## ■ 体操部

活用内容：強化合宿宿泊費

体操部では、2015年度未来サポーター募金により、8月13日～16日の4日間、福井県鯖江市「立待体育館」にて夏季強化合宿を敢行することができました。全日本学生選手権の直前に行ったこの合宿により、選手一同、非常に充実した設備での練習ができました。明治大学内の練習場には安全設備がないため、新しい技の練習ができない環境にあります。そのため、設備が充実している練習場への合宿は、部員にとって最大の成長するチャンスであり、非常に重要な機会であります。

今回は明治大学創立者の1人である矢代操先生の出身地である鯖江市での合宿ということで、合宿風景は地元の新聞にも掲載されました。また、鯖江市長の激励も受け、部員一同、熱心に練習に取り組みました。

現在、体操部では1部昇格を目標に日々、練習に励んでおります。この目標を達成するためにも、今後とも宜しくお願い致します。多大なるご支援、誠にありがとうございました。



## ■ 卓球部

活用内容：モルディブ共和国遠征航空券代

このたび、明治大学卓球部とモルディブナショナルチームとの強化合宿のため、モルディブ共和国へ遠征を行いました。約1週間の合宿では、打球練習だけでなく体力トレーニングも重視しながら非常に内容の濃い練習を行うことができました。

また、モルディブジュニアナショナルチームへの強化として、明治大学の学生が講習会を開催しモルディブ卓球協会への貢献活動も積極的に行いました。その他、モルディブ国立大学の学長を訪問し、明治大学とモルディブ国立大学との交流を深めました。さらにスポーツ省スポーツ大臣への訪問も実現し、今後のモルディブのスポーツの強化体制をうかがうと共に、明治大学として強化に協力できる点に関しては積極的に言う旨伝えて参りました。

今回の海外遠征を通して、選手の強化のみならず、国際交流の重要性を学生が知る素晴らしい機会となりました。サポーター募金からのこのような補助をいただき、今回の遠征が実現いただきましたことに感謝申し上げます。



## ■ 馬術部 活用内容：総合馬術競技用馬購入費

2015年度未来サポーター募金を使って、関東及び全日本学生馬術大会において3種目総合団体優勝を果たすために馬匹を購入しました。

N A L A II（現フランチエスカM）は、去年の5月29日に成田空港から当部に入厩しました。既に競技にも使用していて、馬事公苑で行われた10月のホーストライアルシリーズのノービスクラスで1位、2月のホーストライアルシリーズでは1つクラスを上げてトレーニングクラスにも出場しています。現在も4月のホーストライアルシリーズ、5月の全日本ジュニア総合馬術大会、そして6月の関東学生馬術大会に向けて日々調整を行っています。

ここ数年間、ずっと3種目団体準優勝で来ていました。N A L A II（現フランチエスカM）は、高いポテンシャルを持った馬なので、この悪い流れに終止符を打つための戦力になってくれるであろうと部員一同期待をしております。



## ■ ボクシング部 活用内容：春合宿宿泊費

この度は、サポーター募金を使わせていただき、ありがとうございました。体育会ボクシング部は、サポーター募金によって、6泊7日の白子合宿を行うことができました。白子合宿では、走り込みを中心とする、朝練・午前練・午後練という3部練習の日程で活動を行いました。ハードなスケジュール、練習メニューを乗り越えることで、関東大学リーグ戦にむけて重要な基礎体力、精神力、また部内の団結力を高めることができました。今回の合宿の成果をリーグ戦において各々発揮できるよう、サポーター募金をしてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず、合宿後も全力で日常の練習にも励む所存です。



## ■ バレーボール部 活用内容：ポータブルステージ購入費

この度は、バレーボール部に多大なるご支援を頂き、誠に感謝いたします。

寄付金により購入したステージによってより実戦形式に近い練習環境が出来ました。特にブロック練習においては長さ、高さのあるステージを利用して横移動の速い相手、高さのある相手を想定した練習が出来ています。その結果、今年の全日本インカレにおきましてはベスト4という結果を残すことができました。

また来年も今年以上の結果が残せるよう部員一丸となって頑張っております。今後も変わらぬご支援・ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。



## ■ ハンドボール部 活用内容：夏季強化合宿泊費

この度は私達、体育会ハンドボール部へのご支援賜りまして誠にありがとうございます。

今回頂戴致しましたスポーツサポート資金により、茨城県において2015年度夏合宿を執り行うことができました。

リーグ戦を9月に控え、課題であるスタミナを強化するには最高のロケーションでした。合宿では午前・午後と2部練をし、ストレッチや走り込み、技術面の向上を意識してチーム一丸となって練習に取り組みました。その結果、リーグ戦では部員の中から得点王の選手を出すことができ、ハンドボール部にとって非常に良い刺激となりました。

今年度の多額の資金の助成、誠にありがとうございます。来年度は今年度以上の結果を残すために努力して参ります。今後とも、応援の程よろしく願い申し上げます。



## ■ ラグビー部 活用内容：強化合宿、備品購入費、全国大学選手権旅費交通費

2015年度、3年目のシーズンは部の強化方針として、メディカル体制の運営上必要な備品として、試合後のケアに必要なアイシング機器を購入させて頂きました。各人がベストで練習や試合に挑めるようになり、非常に良い機器を購入することができました。また、フォワード強化の一環でミニ合宿を北海道網走市で行い、トップリーグの4チームと合同練習を行いセットプレーの向上に繋がり成果が上がりました。更には、大学選手権での遠征費用にも使用させて頂き、セカンドステージ突破に選手のコンディションを整えることができました。強化するうえで日々進化する指導に必要なものを購入し、更には選手の育成ならびに遠征等のサポートにスポーツサポート資金を活用させて頂きました。ありがとうございました。

2015年は、同率ではありますが対抗戦優勝、大学選手権も5年振りに正月を越えることができましたが、遠ざかる大学選手権優勝にはまだ届いておりません。4年目のシーズンに入り、昨年は大きくチームが成長したシーズンでした。選手の様々な面での成長を感じますが更なる進化が必要と考えております。20年遠ざかる大学チャンピオンを目指し、また皆様のご期待に応えられるように秋のシーズンに向けてスタッフ・選手一体となって頑張っていきますので、温かいご支援・ご声援を何卒宜しくお願い申し上げます。

体育会ラグビー部 監督 丹羽 政彦



## ■ ワンダーフォーゲル部 活用内容：テント、調理用コンロガス、アイゼン購入

ご支援いただき、ありがとうございます。体育会ワンダーフォーゲル部では4班体制・総勢50名で、冬期を除き、月に約1回のペースで合宿を行っております。通常は、関東甲信近郊にある山を2泊3日で登り、夏季合宿では北海道、東北、九州などに遠征し、約2週間かけて登山を行います。また、キャンプごとにランニングなどのトレーニングも日々、活動しております。

今年度、未来サポーター基金よりクラブ名をプリントした6人・7人用テントを各2張、雪上歩行に必要な軽アイゼンを16組、調理用ストーブを4台、購入させていただきました。皆様の手厚いご支援のおかげで、快適かつ安全に合宿が行えるようになりました。多大なるお力添えを賜りまして、誠にありがとうございました。早速、春合宿では各班に1張ずつ、新調したテントを使わせていただきました。

今後とも、部としてさらに成長できるよう、部員一同、精進してまいります。何卒、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

体育会ワンダーフォーゲル部 部長 長峰 章 監督 諏訪本 充弘 主将 松田 彩友美

